

第57回 日本透析医学会 学術集会・総会が、

平成24年6月22日(金)～平成24年6月24日(日)に

北海道の

京王プラザホテル札幌 / ロイトン札幌

さっぽろ芸術文化の館 / 札幌市教育文化会館

札幌プリンスホテル国際館パミール

にて開催されます。

当院からは、臨床工学科 細木和也 技士・村岡進広

技士が学術発表いたしますので、ご紹介します。

多彩な病態 - 三面六臂の血液浄化 -



2012. 6/22 Fri - 24 Sun

会長 久木田 和丘 (社会医療法人北楡会 札幌北楡病院)

会場 京王プラザホテル札幌 / ロイトン札幌 / さっぽろ芸術文化の館 (旧北海道厚生年金会館)
札幌市教育文化会館 / 札幌プリンスホテル 国際館パミール

多用途透析用監視装置 DCS-100NX 並びに透析通信システム Future Net Web+ の使用経験

西の京病院 西大寺クリニック 臨床工学科 1) 透析センター²⁾

細木和也¹⁾ 垣内寛子¹⁾ 野口 幸¹⁾ 岡村修²⁾ 渡邊美智子²⁾ 吉岡伸夫²⁾ 高比康臣²⁾

【はじめに】 2011 年 10 月 1 日に西の京病院 西大寺クリニックを開院し、日機装社製コンソール DCS-100NX・透析通信システム Future Net Web+(FNW+)を導入したので報告する。

【対象と方法】 クリニックに通院中の患者 20 名に DCS-100NX を使用し、スタッフ 4 名のヒューマンエラーや業務低減の効率を検証した。

【結果】 DCS-100NX は従来機と異なり自動化ユニットが内蔵され、プライミングから返血までをアシストする D-FAS 機能によりヒューマンエラーが減少した。さらに FNW+で情報を一括管理でき透析中の血圧や運転状態を観察することができた。またコンソール画面で各種データが参照できるようになり、ベッドサイドでの患者指導を行えるようになった。また導入から現在に至るまで安全にかつスタッフの業務効率を得られた。

【まとめ】 DCS-100NX、FNW+の導入は業務を低減し安全機能が向上された。これらの機能を最大限発揮できるように研鑽が必要である。

透析患者の重症下肢虚血(CLI)に血管内治療 (EVT) 後の補完療法として LDL アフェレーシス(LDL-A)を試みた 1 例

医療法人 康仁会 西の京病院 臨床工学科¹⁾心臓血管内科²⁾プラザ透析センター³⁾
透析センター⁴⁾内科⁵⁾

村岡進広¹⁾ 大西順也¹⁾ 二神徳明¹⁾ 上西大輔¹⁾ 明石清忠¹⁾ 野口幸¹⁾ 河原田修身²⁾
渡邊美智子³⁾ 青木昭美⁴⁾ 田宮正章⁴⁾ 吉岡伸夫³⁾⁴⁾ 高比康臣⁵⁾

【症例】65 歳男性。右第 1 趾に壊死出現、SPP で右足背/足底 33/25mmHg と著明な低下を認め CLI と診断した。責任病変と考えられた前脛骨動脈、足背動脈、後脛骨動脈、足底動脈の閉塞病変に EVT を行った。術後、SPP は 70 台に上昇したが右第 1 趾創部は一部肉芽形成するものの遷延した。その原因として右第 1 趾の微小循環不全と骨髓炎によるものと考え末節骨切断と LDL-A を行った。導入後も創傷処置ならび感染管理、フットケアを継続し、足趾の改善が認められた。

【結語】LDL-A は CLI に対する EVT 後の補完療法として有用な可能性があるため若干の文献的考察を含めて報告する。